OMEP ニューズ

Vol. 53 No. 2 2021. 1

OMEP 日本委員会事務局 発行

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-2 B.RﾛｼﾞｪT-1

日本保育学会気付

https://www.omepjpn.org/(HP) https://twitter.com/omep_japan(Twitter)

巻頭言 新しい年の到来に今と未来を見すえて行動しよう

上垣内 伸子（会長・十文字学園女子大学）

2021 年を迎えました。2020 年は、コロナ禍の中で誰もが目の前にいる大切な家族や友人の健康と安心のために力を尽くし、国境を越えて世界中の人々の安寧な生活の回復のために祈った 1 年でした。OMEP は 6 月に、未来の担い手である子ども達と共に持続可能な社会の創造を目指して協働し連帯していくことを呼びかける声明書を出しました。11 月の OMEP 世界総会では、総会での討議の成果として、「パンデミック時代の乳幼児教育の役割」と題した総会宣言を出しました。ここでも、今一度、幼児教育・保育がこれからのよりよい社会の構築に重要な役割を果たすこと、そのために OMEP が強い緊急感をもって連帯し努力し行動していくことを示しています。ご一読ください。これから、政府や関係団体に送付して呼びかけていく予定です。

日本委員会では 12 月 12 日に、「OMEP では何ができるか? ―『子どもの権利』と『持続可能な開発のための教育』―」をテーマに、会員交流会をオンラインで開催いたしました。この会員交流会でお話したことを、今号のニューズにてご紹介しています。世界プロジェクトへの会員の皆様の参加を期待しています。2020 年から 2022 年までの今期は、一層国内における OMEP への関心を高め会員の裾野を広げると共に、会員の皆様と、1948 年の創設当時から変わらない OMEP のミッションを明確にして活動していくことをスローガンとして掲げました。それは、乳幼児期からの ESD、持続可能な開発のための教育の推進、採択から 30 年を迎えた国連子どもの権利条約（CRC）に基づく乳児期からの「子どもの権利」について発信していくことです。スローガンの具体として、活動の 3 本柱を立てました。それぞれを、CRC プロジェクト、ESD プロジェクト、翻訳・研究発表プロジェクトと名付けています。2020 年には CRC と ESD プロジェクトがスタートし、翻訳・研究発表プロジェクトは 2021 年からのスタートを計画中です。

世界 OMEP の動きとしては、11 月に世界総会が開催されました。メルセデス世界総裁から、今期の世界 OMEP の活動戦略 Strategic Plan が示されました。活動の土台となる理念は OMEP 規約、国連子どもの権利条約（UNCRC）、SDGs 持続可能な開発目標の4（教育）と Education 2030 アジェンダという 3 本柱です。この理念に基づいて、子どもの権利擁護のアドボケーターとなり、CRC や ESD を尊重した幼児教育・保育を推進し、大会や学術雑誌などでの研究発表とアワードによる研究奨励、そして健全で民主的な組織運営を行うことが謳われています（p.6 参照）。こうした世界 OMEP からの提案に、私たち各国の OMEP 会員が意見を出し合うことで、OMEP の活動がさらに発展していくことを願っています。今と未来を見すえ、目の前の子ども達を見つめながらも遠くの世界を思い描き、子どもの最善の利益の擁護と促進、持続可能な社会の構築、質の高い幼児教育・保育の実現に努めてまいりましょう。

《目次》

●巻頭言「新しい年の到来に今と未来を見すえて行動しよう」/ 目次 …1

●CRC プロジェクトの紹介 /「OMEP 日本 子どもファンド」による寄付の報告 …2-3

●ESD プロジェクトの紹介 …3-5

●世界 OMEP の窓から / 世界総会報告・アジア太平洋地域会議報告 …6-7

●会員交流会報告 / 会員交流会に参加して …7

●インフォメーション / 事務局より …8